

安全データシート

整理番号：sunagro-56

作成日 2015年12月24日

改定日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 ぐみあい苦土マンガンほう素入り複合硝加磷安333
肥料登録番号 生第85450号
製品名 畑作名人333
会社名：全国農業協同組合連合会
担当部署：肥料農薬部
住所：〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAt' 133F
電話番号：03-6271-8285
Fax番号：03-5218-2536
E-mail：zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先：03-6271-8285
推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 酸化性固体 区分3
健康に対する有害性 発がん性 区分1A
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分1(血液)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(血液)
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ：酸化性物質

発がんのおそれ

血液の障害

長期にわたる、又は反復暴露による血液の障害

注意書き

[安全対策]

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。

衣類及び他の可燃物から遠ざけること。

可燃物と混合を回避するために予防策をとること。

保護手袋を着用すること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

[応急措置]

ばく露又はばく露の懸念がある場合は医師の診断、手当を受けること。

気分が悪いときは医師診断、手当をうけること。

火災の場合、適切な消火剤を使用すること。

[保管]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
りん酸一アンモニウム	～27%～	NH ₄ H ₂ PO ₄	1-379	既存	7722-76-1
硝酸アンモニウム	～32%～	NH ₄ NO ₃	1-395	既存	6484-52-2
塩化カリウム	～23%～	KCL	1-228	既存	7447-40-7
酸化マグネシウム	～4%～	MgO	1-465	既存	1309-48-4
鉍滓マンガ肥料	～3%～	—	—	—	
クレー	～7%～	SiO ₂ (主成分)	1-548	既存	14808-60-7
シリカフェーム	～1.4%～	—	—	—	69012-64-2
ほう酸塩肥料	～0.4%～	—	—	—	
その他	～2.2%～	—	—	—	

分類に寄与する不純物及び 情報なし

安定化添加物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

硝酸アンモニウム（法令指定番号：308）（32%）

シリカ（クレー）（政令番号：312）（7%）

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに洗浄すること。外観に変化が見られた場合は

必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

火災によって、刺激性、腐食性及び、又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護

消火作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具

(ホースマスク等) を着用するのが望ましい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
作業に際しては適切な防護具を着用し、飛散しない方法で回収する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化方法・機材

河川等に排出され環境へ影響を起ささないように注意する。
危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。
可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
局所排気・全体換気
安全取扱注意事項

情報なし
情報なし
使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
飲み込みを避けること。
皮膚、眼との接触を避けること。
粉じん、ヒュームの吸入を避けること。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気のよい場所で保管する。
施錠して保管すること。
燃焼性物質及び可燃物から離して保管すること。

容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
リン酸一アンモニウム	未設定	未設定	未設定
硝酸アンモニウム	未設定	未設定	未設定
塩化カリウム	未設定	未設定	未設定
酸化マグネシウム	未設定	未設定	TWA 10 mg/m ³ (I), STEL
鉍滓マンガン肥料	未設定	未設定	未設定
クレー	未設定	未設定	未設定
ほう酸塩肥料	未設定	未設定	未設定
シリカフェーム(非結晶)	未設定	【粉塵許容濃度】 (第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5 mg/m ³ 総粉塵 2 mg/m ³	TLV - TWA 3mg/m ³

設備対策

屋内で取扱う際は、できるだけ密閉された装置、機器又は局

所排気装置を使用する。
 取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

呼吸用保護具	呼吸器保護具を着用すること。防塵マスク
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	顔面用の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	固体
形状	粒状
色	茶色
比重	0.98 (嵩比重)
臭い	無臭
臭いのしきい (閾) 値	データなし
pH	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	引火せず
自然発火温度	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	加熱や燃焼により分解し、有害なガスを発生する。
避けるべき条件	加熱、燃焼
危険有害な分解生成物	窒素酸化物、アンモニアガス

11. 有害性情報

製品として	
急性毒性	情報なし
硝酸アンモニウムとして	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	本物質自体のヒトでの報告はないが、水溶性硝酸塩一般として、硝酸ナトリウムを食塩と誤って摂取した15人の兵士がメトヘモグロビン血症になり約15gを摂取した13人が死亡し、5gを摂取した2人が生存した (ECETOC TR 27 (1988)) ことから区分1 (血液) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	水溶性硝酸塩一般についての慢性毒性として、硝酸塩を含む食事、水を摂取した幼児にメトヘモグロビン濃度の上昇が多数報告されていること、利尿剤として硝酸ナトリウム、硝酸アンモニウムを、尿路結石防止剤として硝酸アンモニウムを投与された患者にメトヘモグロビン血症がみられる (ECETOC TR27 (1988)) ことから区分1 (血液) とした。
クレー (石英が主成分) として	結晶質シリカは吸入によって発がんのおそれがある。

IARC68(1997)は1、NTPはK、産業学会勧告は1に区分しており
 区分1Aとした。IARCグループ1(ヒトに対して発がん性がある)

12. 環境影響情報

環境に対する有害性	製品としての情報なし
オゾン層への有害性	データなし
生態毒性	製品としての情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。 関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	2067
Proper Shipping Name	AMMONIUM NITRATE BASED FERTILIZER
Class	5.1
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	2067
品名	硝酸アンモニウム肥料
クラス	5.1
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、 施行令第18条の2別表第9) 硝酸アンモニウム
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第 1条)
消防法	第1類酸化性固体、硝酸塩類(法第2条第7項 危険物別表第 1・第1類)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の1項 輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第2, 3条危険物告示別表 第1)
航空法	酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表 第1)

16. その他の情報

参考文献

14096 の化学商品、化学工業日報社

その他

この情報は新しい知見により改訂されることがありますので
ご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査でき
る範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。
化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。
本品の適正な使用については、使用者において行ってください。

本SDSは、下記サンアグロ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問
い合わせください。

会社名称	サンアグロ株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町1丁目10番5号 日産江戸橋ビル
担当部門	生産技術部
電話番号	03-3510-3610
FAX 番号	03-3273-8432
緊急連絡先	サンアグロ株式会社 富山工場 製造課
電話番号	076-433-9632